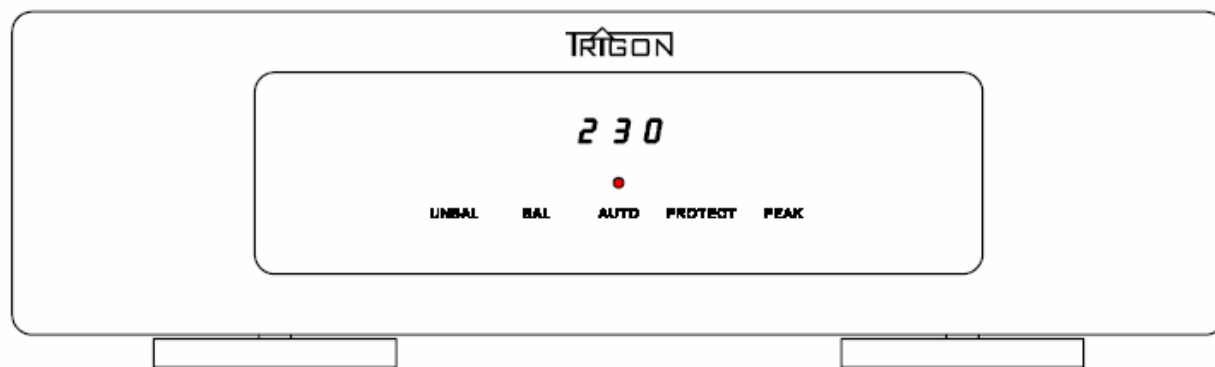




**Operating instructions**  
For

**MONO OUTPUT STAGE**

**TRE-50 BA**



---

この度は、Trigon TRE-50 BA をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。  
本製品は、厳重な管理の下製造されており、最新の精密技術を搭載しております。  
以下の操作説明書をよくお読みいただいた上でご使用下さい。

## 1. 製品概要

TRE-50 BAは、ホームユースの(HiFi)モノラル・パワーアンプです。

ステレオ構成のパワーアンプに対してモノラル型の有利な点のひとつは、アンプ本体をスピーカーの近くに設置できること。スピーカーケーブルを短くすることが可能になり、音質的に好結果を得られます。もうひとつは非常に優れたチャンネル・セパレーションが得られ、その結果、再生音の空間再現が大幅に向上させられること。さらに個々のアンプがそれぞれ電源部を有するため、電源部の共有による悪影響が原理的に発生しません。400VAの強力な電源トランスと60000 $\mu$ F超の大容量コンデンサーはパワーアンプに安定した電力を供給します。

TRE-50 BAパワーアンプには、アンバランス入力(UNBAL)とバランス入力(BAL)の二種類の入力端子が装備されており、信号の切り替えは本体背面のプッシュボタンで行います。また、リモートで電源を立ち上げることが出来る3.5 $\phi$ 入力ジャック(AUTO)が用意されています。(この操作はTRIGON社製プリアンプTRV-100との間において有効です)本体背面のプッシュボタンを押してこの設定がオンになっている場合、このジャックに制御信号が流れパワーアンプの電源が入ります。\*1

本体前面のデジタル表示はボルテージメーターで、電源端子に入力される平均電圧値を表示します。この機能も本体背面のプッシュボタンによりオン/オフの切り替えが可能です。

オーバー・レギュレーションを示すインジケーター(PEAK)も、非常に有用な機能です。このインジケーターは、アンプがパワーリミットに達したことを示し、それ以上ボリュームを上げていくと歪みが増大してアンプ本体やスピーカーを破損する恐れがあります。

\*1 この操作に必要なケーブルは付属していません

## 2. セットアップ

- ◆ 本体はなるべくスピーカーの近くに設置することをお勧めします。
- ◆ 暖房機器等からの直接放射を避け、その他の熱源からも遠ざけて設置してください。
- ◆ すべての接続が終わり、スピーカー端子の出力がショートしていないか等、安全の確認が出来てからパワーアンプの電源入れてください。
- ◆ プリアンプからのショックノイズを避けるために、パワーアンプよりもプリアンプの電源を先に入れるようにしてください。
- ◆ 電源を切る場合には逆の順序で行います。プリアンプよりもパワーアンプの電源を先に切って下さい。
- ◆ 後述のオート・パワー・オン機能(4、10、13を参照)を使用すると、便利でより安全です。
- ◆ 日本国内で販売されているTRE-50 BAは100V専用です。
- ◆ ボルテージの異なる海外では使用できませんので、ご注意ください。

---

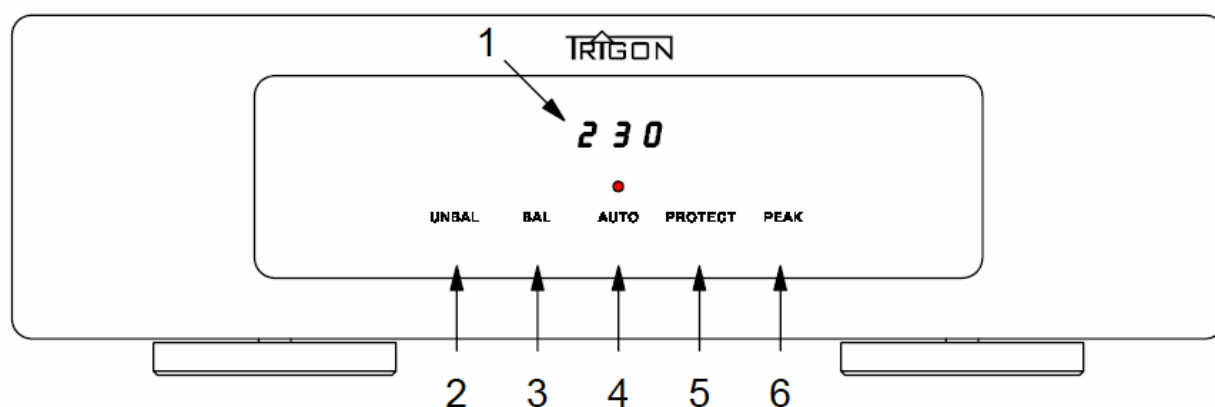
## 注意！

このアンプにはACメインズが付属されています。

このACメインズはTRIGONのパワーアンプTRE-50 BA専用のものです。

決して他の機器には使用しないでください。

### 3. 前面パネル



#### 1) デジタル表示電源電圧メーター

この電源電圧メーターには、電源部に供給されている電源電圧値が表示されます。この機能は本体背面のボタン12でオン/オフを切り替えます。

メーターに表示される値の精度は誤差が約2%であり、電源電圧の変動に伴い表示される値も変わります。それにより一日のどの時間帯が電源電圧の変動が少ないか、また電圧の変動がどのくらい音質へ影響を及ぼしているかがわかりいただけるでしょう。

#### 2) アンバランス入力LED (UNBAL)

背面のスイッチ11によりアンバランス入力 (15) が選択されている場合に点灯します。

#### 3) バランス入力LED (BAL)

スイッチ11によりバランス入力 (14) が選択されている場合に点灯します。

プリアンプとパワーアンプの間が離れていて接続に長いケーブルを使用しなければならない場合、さらにプリアンプにバランス出力が装備されている場合にはバランス接続をお勧めします。

バランス接続は、ケーブルを長距離引き回す際に発生する外来ノイズを効果的に抑制します。

！ 通常、アンバランス入力とバランス入力を切り替えた場合6dBのレベル差が生じます。TRE-50 BAは入力を切り替える際に生じる音量差を避けるためにバランス入力のゲインとアンバランス入力のゲインが一緒になるように調節されています。

---

#### 4) オート・パワー・オンLED(AUTO)

スイッチ10によりオート・パワー機能が有効になっている場合に点灯します。この機能がオンになっている場合、ジャック(13)にコントロール信号が入力されると、自動的にパワーアンプの主電源が入ります。この機能を利用することにより、パワーアンプを一台一台手動でオン/オフする必要がなくなるため、非常に便利です。

この機能は、TRV-100プリアンプとの間でのみ有効です(13参照)。

! この操作に必要なケーブルは付属していません

#### 5) プロテクトLED(PROTECT)

内蔵の保護回路により、スピーカー破損の原因となるDC信号がスピーカー出力端子から検出された場合に点滅します。このLEDが点滅した場合には、アンプの電源をいったん切り、一分以上経過した後に電源を再度入れてください。点滅が30秒以上続く場合には何らかの障害が発生している可能性がありますので、お買い求めの販売店あるいは弊社サービス窓口までご連絡下さい。

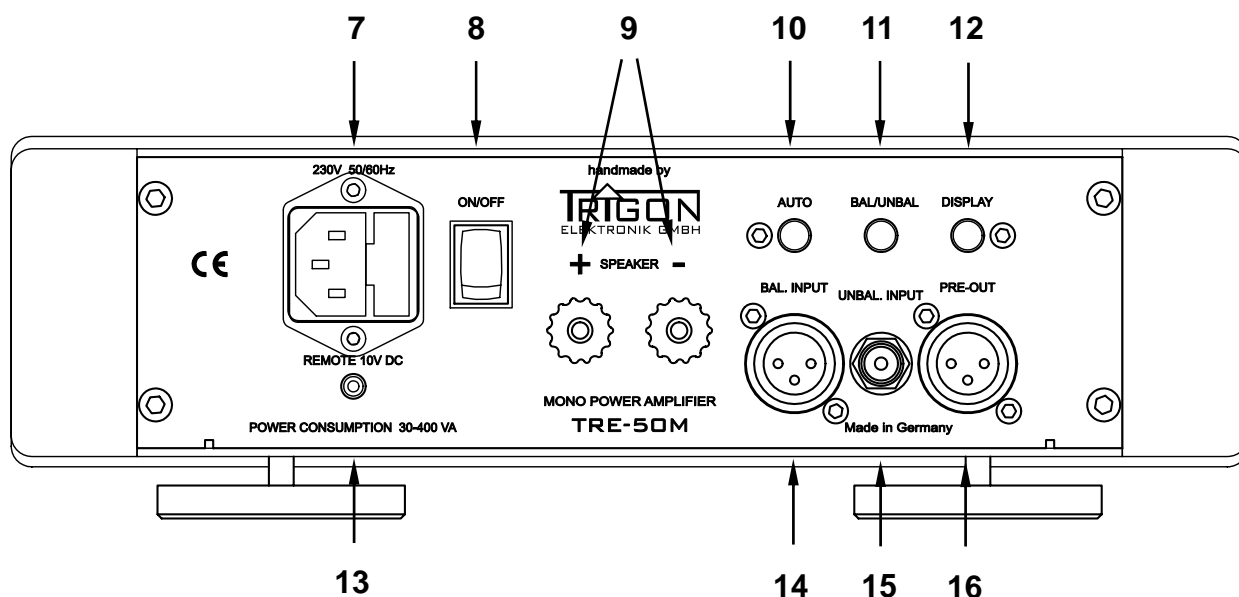
! 本体に電源を入れるとプロテクトLEDは必ず15秒間点滅します。その間にすべての回路の供給電圧と動作モジュールが最適な状態になります。その後、当該LEDは消灯してスピーカー出力のリレー回路がオンになります。

#### 6) ピーク表示LED(PEAK)

再生音量にもよりますが、音楽信号の激しい起伏により当該LEDが点灯する場合があります。

このLEDが頻繁に点灯する場合には、アンプの出力がパワーリミットに達していますので、プリアンプのボリュームを絞ってください。オーバーレギュレーションが発生すると音楽信号のピークが「潰れて」しまい、それによる強い歪みでスピーカーのツイーターが損傷を受ける可能性があります。通常、オーバーレギュレーションは聴感で判別することが可能ですが、大音量再生時にはピーク表示LEDを時々見て、オーディオシステムに損傷を与えないよう注意してください。

#### 4. 背面パネル端子



#### 7) 電源ソケットおよびヒューズ

本体に付属の高品質電源コード「TRIGON VOLT」をここに装着します。

ヒューズが溶断した場合は、速やかに電源コードを本体と壁側のコンセントから抜いてください。ヒューズボックスは小型のドライバーで開けることができます。交換ヒューズは必ず(250V 10A)を使用してください。

ヒューズを交換した直後に再度溶断した場合は、お買い求めの販売店あるいは弊社サービス窓口までご連絡下さい。

**注意：**溶断したヒューズを交換する際は、必ず同規格のものをご使用ください。ヒューズはデバイスに何らかの不具合や障害が発生した場合に溶断します。適切なヒューズを使用しないと、障害の発生したデバイスに過大な電流が流れダメージを受けたモジュールが、発火する恐れがあります。

#### 8) 電源スイッチ

本パワーアンプの主電源スイッチです。アンプのオート・パワー機能(ボタン10)がオフの場合には、このスイッチを入れると直ちに実働状態に入ります。

また、オート・パワー機能がオンになっている場合(本体前面のAUTO LEDが点灯した状態)では、REMOTE端子にコントロール信号が入力された場合にアンプの主電源が入ります。

#### 9) スピーカー端子

スピーカーケーブルをこの端子に接続します。最低インピーダンスが $2\Omega$ を下回るスピーカーの使用はご遠慮ください。また、この端子をショートさせないでください。故障の原因となります。

---

## 10) オート・パワー・スイッチ (AUTO)

オート・パワー機能のオン/オフを切り替えます。当該機能がオンの場合、本体前面のLED 4 が点灯します。

## 11) バランス入力/アンバランス入力切り替えスイッチ (BAL/UNBAL)

バランス入力とアンバランス入力を切り替えます。どちらの入力が選択されているかは、本体前面のLED 2 および 3 により表示されます。

## 12) 電源電圧表示スイッチ (DISPLAY)

本体前面の電源電圧メーターの表示のオン/オフを切り替えます。

## 13) REMOTE 10V DC

TRIGONのプリアンプ(TRV-100)をお持ちの方は、リモート接続を行うことで本機の電源を簡単に入れることができます。3.5φのミニジャックを接続してオート・パワー・スイッチをオンにしておけば、プリアンプの電源が入ると同時にパワーアンプの電源が入ります。この機能を利用すると、パワーアンプの電源スイッチを一台ずつ入れる必要がなくなるため、使い勝手が飛躍的に向上します。

**注意：**ハムの発生を避けるため、制御信号用ケーブルは3.5mmミニプラグの先端部(ホット側)同士を接続し、コールド側は使用しないでください。コントロール信号のリターンは音声信号用ライン(RCAおよびXLR)を流れます。コントロール信号の電流は微弱なため、太いケーブルを使用する必要はありません。0.25スケア程度の撚り線で充分でしょう。アースラインの共用によるオーディオ信号の影響は無いので、音質への影響を心配する必要はありません。

！ この操作に必要なケーブルは付属していません

## 14) バランス(XLR)入力ジャック (BAL INPUT)

プリアンプのバランス出力を接続します。

## 15) アンバランス入力ジャック (UNBAL INPUT)

プリアンプのアンバランス出力を接続します。

### **注意！**

**RCAピンプラグを外すときには、回さずに真っ直ぐ引き抜くようにしてください。**  
**ピンプラグを回しながら外すと内部配線が断線する恐れがあります。**

## 16) バランス(XLR)出力ジャック (BAL OUTPUT)

プリアンプの信号を出力します。バイアンプ接続をされる場合にお使いください。

---

## 5. スペック

最大出力 .....	250W (4Ω)、135W (8Ω)
入力インピーダンス.....	47kΩ (RCA/XLR)
入力感度 .....	1.2V
歪み率 (THD+N) .....	0.03%以下
周波数特性帯域.....	0.5Hz ~ 200kHz ( ± 3dB)
残留ノイズ .....	アンバランス: 10μV (A-weighted)、14μV (unvalued)
.....	バランス: 15μV (A-weighted)、22μV (unvalued)
S/N比 .....	-106dB (1W時4Ω)
重量.....	10.1kg
サイズ .....	H89mm x W300mm x D400mm
仕上げ.....	ブラック、シルバー

仕様は予告なく変更されることがあります。

### 総輸入代理店

フューレンコーディネート

フリーダイヤル

0120 - 004884